

平成16年3月期

第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月4日

上場会社名 川崎近海汽船株式会社 (コード番号：9179 東証第二部)
 (URL http://www.kawakin.co.jp)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 荒木 武 文
 責任者役職・氏名 経理部長 木 村 孝 史 TEL (03) 3592-5811

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	6,540	-	205	-	126	-
(参考)15年3月期	26,756	2.4	1,244	17.5	807	0.5

(注)1. 売上高等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

2. 四半期業績の概況は当第1四半期より作成しておりますので、前年同期との業績比較は行っておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

第1四半期におけるわが国の経済は、株式市場の持ち直し、企業収益の増加など一部で景況感には改善の兆しがあるものの依然としてデフレ基調は継続しており設備投資や個人消費は伸び悩み、厳しい状況が続きました。

このような情勢下において、近海部門では、輸出鋼材の輸送量は減少しましたが、復航のサバ・サラワクからの輸入木材製品及び南洋材、チップ輸送は安定した輸送量を確保し、石炭などの輸送量も大幅に伸ばしました。内航部門においては、石灰石専用船、石炭専用船とも安定した輸送量を確保致しました。また昨年10月に投入したRORO船「神川丸」は順調に稼働、その他のRORO船も概ね目標を確保し収益の安定に努めました。フェリー部門においては、八戸航路では景気の低迷を受けトラック輸送量は減少しましたが、旅客はマスメディア等を通じたキャンペーン効果によりほぼ所期の目標を達成することができました。東京航路は従来からの雑貨、商品車輸送に加え冷凍食品などの誘致に積極的に取り組みましたが燃料油価格の高値基調により厳しい状況が続いております。

この結果、当第1四半期の売上高は65億40百万円、営業利益は2億5百万円、経常利益は1億26百万円となりました。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	6,575	186	131			

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高		予想経常利益		予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	13,300	500	210			
通期	26,500	850	350			

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 10円46銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は概ね当初予想どおりに推移しており、連結・個別とも前回公表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

(参考2) 平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高		予想経常利益		予想当期純利益		1株当たり年間予想配当金		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭
中間期	13,300	500	210			2.50	-	-	
通期	26,500	850	350			-	2.50	5.00	

* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

第1四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第1四半期連結会計期間 自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日		前事業年度の要約 連結損益計算書 自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	6,540,126	100.0	26,756,269	100.0
売上原価	5,558,318	85.0	22,350,768	83.6
一般管理費	776,194	11.9	3,160,980	11.8
営業利益	205,613	3.1	1,244,520	4.6
営業外収益	7,948	0.1	43,617	0.2
営業外費用	87,543	1.3	480,961	1.8
経常利益	126,018	1.9	807,176	3.0

第1四半期個別損益計算書

(単位：千円)

科目	当第1四半期会計期間 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日		前事業年度の 要約損益計算書 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
海運業収益	6,552,088	%	26,718,642	%
その他事業収益	23,453		95,359	
営業収益計	6,575,541	100.0	26,814,002	100.0
海運業費用	5,640,535		22,626,633	
その他事業費用	10,980		44,533	
一般管理費	737,543		2,985,054	
営業費用計	6,389,059	97.2	25,656,221	95.7
営業利益	186,481	2.8	1,157,780	4.3
営業外収益	9,040	0.1	30,673	0.1
営業外費用	63,554	0.9	363,798	1.3
経常利益	131,968	2.0	824,656	3.1